

コシヒカリの出穂期は平年並みの見込み！

コシヒカリの草丈は指標値に比べ110%と長くなっています！

1 生育概況

- コシヒカリ、こしいぶきともに出穂期は平年並みとなる見込みです。
- コシヒカリでは、草丈は長く、葉色がやや濃くなっています。
- こしいぶきは葉色が濃い状態です。

7/10 現在の生育 (対生育指標値)

コシヒカリ 草丈：長い 茎数：並 葉数：並 葉色：やや濃い
こしいぶき 草丈：やや長い 茎数：並 葉数：並 葉色：濃い

	田植日	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)			備考	
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差		
コシヒカリ	下稲塚	5/10	78	115%	101%	509	105%	102%	11.2	▲ 0.1	▲ 0.7	36.2	1.7	0.4	7/10調査
	南新保	5/11	71	104%	100%	365	75%	65%	10.5	▲ 0.8	▲ 0.7	36.6	2.1	▲ 3.3	7/9調査
	長崎	5/12	73	107%	111%	502	104%	109%	11.1	▲ 0.2	0.2	34.4	▲ 0.1	3.1	7/9調査
	上百々	5/19	78	115%	103%	499	103%	102%	10.9	▲ 0.4	0.0	36.6	2.1	3.0	7/10調査
	平均		75	110%	103%	469	97%	93%	10.9	▲ 0.4	▲ 0.3	36.0	1.5	0.8	
	関山	5/17	65	111%	104%	540	135%	100%	10.8	0.1	▲ 0.0	36.3	1.3	3.1	7/9調査
こしいぶき	下稲塚	5/10	70	108%	95%	514	114%	101%	12.0	0.6	▲ 0.2	36.8	0.8	▲ 9.1	7/10調査
	長崎	5/13	69	106%	106%	386	86%	83%	11.8	0.4	0.2	44.2	8.2	▲ 0.9	7/9調査
	平均		70	108%	101%	450	100%	92%	11.9	0.5	0.0	40.5	4.5	▲ 5.0	

2 今後の管理

(1) コシヒカリの1回目穂肥

- 1回目の穂肥時期の幼穂長は5~10mm程度です。幼穂長を確認して適期に実施しましょう。(平坦地の5/10~15頃の田植では、8/2頃が出穂期、7/15~18頃が1回目の穂肥適期と予想されます)
- 草丈70~75cm、葉色(SPAD)32~34の稲姿(出穂25日前頃)のほ場の1回目の穂肥量は窒素成分で1kg/10aです。穂肥診断を確実に実施し、これより草丈が長い場合や葉色が濃い場合は、穂肥量を控えたり、穂肥時期を遅らせるなどの対応で倒伏を防ぎましょう。
- 有機質由来窒素の割合が50%以上の肥料は、肥料効果が遅く出るため、通常より2~3日早めに施用しましょう。

(2) こしいぶきの2回目穂肥

- 5/10~15頃の田植では、7/27頃が出穂期、7/13頃が2回目の穂肥適期と予想されます。
- 2回目の穂肥量は窒素成分で1~1.5kg/10aです。

(3) 病害虫について

- 上越地域内で葉いもちの発生が確認されています。今後もしもち病の感染しやすい気象が続くと思われるので、発病が見られたら適切に防除を行いましょう。
 - 斑点米カメムシ類の発生が多い地域が見られます。農道・畦畔の草刈りを徹底しましょう。
- ※ 穂肥等作業中はこまめに水分補給するなど、熱中症予防対策を徹底しましょう。